

# 報道資料

令和4年6月17日

【問い合わせ先】  
総務部知事公室 防災統括室  
担当：藤村・澤田  
(直通) 0742-27-8091  
(内線) 2246、2293

## 「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画」 に奈良県大規模広域防災拠点が位置づけられました

本日、令和4年6月17日に、内閣府より「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画」の改定について公表され、現在整備を進めている奈良県大規模広域防災拠点がこの国の計画に位置付けられました。

このことについて知事コメントを発表します。

<資料1> 知事コメント

<資料2> 内閣府ホームページ公表資料（参考）

## 知事コメント

- ・ 本日、令和4年6月17日に、内閣府より「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画」の改定について公表されました。
- ・ 県では、南海トラフ地震等の大規模災害に備え、優れた防災機能を有する広域防災拠点の整備が必要との考えのもと、迅速かつ正確な情報収集や災害時の支援に資する大量の物資・人員の輸送集積が可能な「奈良県大規模広域防災拠点」（五條市）の整備を進めています。
- ・ これまで、県の要望活動等を通じて、奈良県大規模広域防災拠点の当計画への位置づけを国に要請してきたところです。
- ・ このたび、奈良県大規模広域防災拠点が紀伊半島を広くカバーする大規模な広域防災拠点として国の計画に位置付けされたことは、本県としましても誠に喜ばしい限りです。
- ・ 引き続き、三重県・和歌山県をはじめとする関係機関と連携し、国の支援も得ながら、防災機能の早期効果発現に向けて、奈良県大規模広域防災拠点の整備を着実に進めて参ります。

# 南海トラフ地震における 具体的な応急対策活動に関する計画

令和4年6月10日  
中央防災会議幹事会

### 3. 大規模な広域防災拠点とその役割

- (1) 南海トラフ地震が発生した場合に、都道府県が全国の防災関係機関から災害応急対策活動に係る広域応援を受けるために設置する防災拠点のうち、以下の表に掲げるような拠点は、救助・救急、消火活動等、医療活動、物資の受入れ・集積・分配を総合的かつ広域的に行う大規模な広域防災拠点である。
- (2) 設置主体となる府県は、いつ発災しても有効に機能するよう、施設管理者、近隣府県その他関係機関と連携して、拠点の設置・運営訓練、人材、物資・資機材の配置等の備えを十分に行っておく必要がある。

#### <大規模な広域防災拠点>

拠点名	南海トラフ地震において想定される役割
静岡空港 (静岡県)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害応急対策に活用する航空機等が駐機、給油等を想定する救助活動拠点である。</li> <li>・ DMATの空路参集拠点として、ロジスティックチームを配置して参集したDMATの活動を後方支援するための拠点である。</li> <li>・ 広域医療搬送を行う航空搬送拠点であり、特に緊急度判定の機能を確保して、広域的に患者を積極的に受入れ、被害が甚大な静岡県内及びその近隣地域の医療機関の負担を軽減することを想定する拠点である。</li> <li>・ 静岡県の広域物資輸送拠点の代替拠点である。</li> </ul>
名古屋飛行場 (航空自衛隊小牧基地) (愛知県)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害応急対策に活用する航空機等が駐機、給油等を想定する救助活動拠点である。</li> <li>・ DMATの陸路・空路参集拠点として、ロジスティックチームを配置して参集したDMATの活動を後方支援するための拠点である。</li> <li>・ 広域医療搬送を行う航空搬送拠点として、特に緊急度判定の機能を確保して、広域的に患者を積極的に受入れ、被害が甚大な中部地方内の医療機関の負担を軽減することを想定する拠点である。</li> <li>・ 航空自衛隊小牧基地との連携により、物資の受入れ、搬送が可能な拠点である。</li> </ul>
名古屋港 (愛知県)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被害が甚大な中部地方への人員、物資、燃料、資機材等を大量に受入れ、災害応急対策を総合的かつ広域的に実施するための拠点である。</li> </ul>

拠点名	南海トラフ地震において想定される役割
熊本空港 (熊本県)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害応急対策に活用する航空機等が駐機、給油等を想定する救助活動拠点である。</li> <li>・ DMATの空路参集拠点として、ロジスティックチームを配置して参集したDMATの活動を後方支援するための拠点である。</li> <li>・ 広域医療搬送を行う航空搬送拠点として、特に緊急度判定の機能を確保して、広域的に患者を積極的に受入れ、被害が甚大な大分県及び宮崎県の医療機関の負担を軽減することを想定する拠点である。</li> <li>・ 空路による物資の受入れ、仕分け、搬送に係る広域的な役割を担う拠点である。</li> </ul>
大分スポーツ公園 (大分県)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空からの救助活動のための大型回転翼機等が離発着でき、かつ、部隊の指揮、宿営、資機材集積等を行うことを想定する拠点である。</li> <li>・ DMATの陸路参集拠点として、ロジスティックチームを配置して参集したDMATの活動を後方支援するための拠点である。</li> <li>・ 広域医療搬送を行う航空搬送拠点である。</li> <li>・ 大分県の広域物資輸送拠点である。</li> </ul>

※奈良県は、紀伊半島には大規模な広域防災拠点は無いことを踏まえて、当該エリアを広くカバーする大規模な広域防災拠点（五條市）の整備を進めている。令和4年度には用地確保を行い、令和7年度以降、救助活動拠点（候補地）として活用を見込んでいる。